

えひめから世界へ!

スポーツが大好きな子どもたち、挑戦しよう!

えひめ愛顔のジュニアアスリート

発掘事業「第10期生」募集開始

県内在住の小学5年生〜中学3年生までの子どもたちを対象に、スポーツの潜在的な才能を有する人材を発掘・育成する本事業。スポーツ医・科学の見地に基いたさまざまな育成プログラムを通して適性のある競技・種目を見極めます。そのうえで、オリンピックをはじめとする国際大会で活躍する日本代表選手を輩出するという夢の実現に向かって取り組むとともに、本県スポーツ界の将来の指導者となる人材の育成を目指して活動しています。

の認定者・修了生のなかには、全国大会で入賞、そして国際大会出場を果たす選手もあり、成果を出しつつあるといえます。10年目という節目を迎える今秋「第10期生」の募集を開始。子どもたちがトップレベルの指導が受けられるのはもちろん、保護者向けのサポートプログラムもあるため、家族で同じ目標を共有できるのも大きな特徴です。保護者の皆さん、スポーツ好きなお子さんにチャレンジさせてみませんか? 愛媛から世界を目指すチャンスをつかみましょう!

左上のグラフのとおり、全国で活躍する認定者・修了生は年々増加しています。その理由の一つが、フェンシングやスポーツクライミング、自転車など、学校の部活動ではできないようなスポーツにも挑戦できること。県内各競技団体の指導者による競技適性評価が的確に行われることにより、思いもよらない才能を開花させる選手が年々増えています。

いろんなスポーツに挑戦できるから
才能が開花する人多数!
日本代表選手も夢じゃない

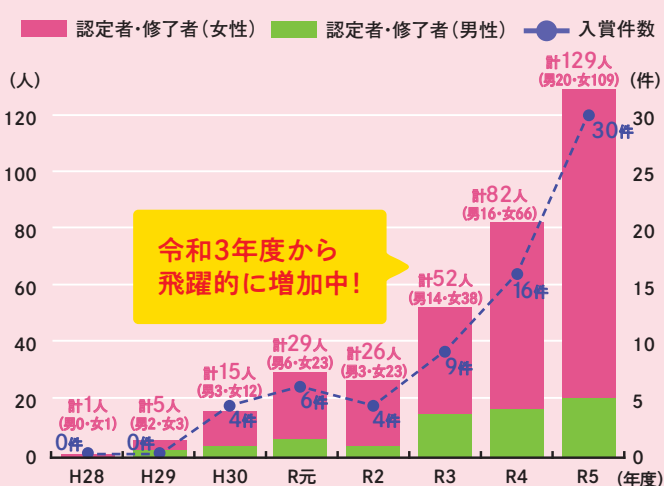


ジュニアアスリートに選出され、プログラム等に参加すれば、世界で活躍するアスリートとふれあう機会も得られ、子どもたちは高いモチベーションを維持することができます。さらに高評価を受けると、中央競技団体等の協力によりステップアップできるシステムがあり、国際大会出場にも手が届くかもしれません。愛媛県は、トップアスリートを夢見る子どもたちを応援します!

10年目を迎えた事業から全国を舞台に戦う子どもたちを多数輩出!



認定者・修了生の全国大会入賞件数の推移
えひめ愛顔のジュニアアスリート認定者・修了生の
全国大会入賞件数の推移は右肩上がり!



令和3年度から飛躍的に増加中!

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
件数	0	0	0	6	0	3	13	19

スポーツ医・科学の見地に基づく / 愛顔のジュニアアスリート育成プログラム

土曜18:00〜(月2〜3回、2時間程度) 県総合運動公園、県武道館などの県内スポーツ施設

- 身体能力開発プログラム**
コーディネーショントレーニング*等で運動神経系の機能向上を図ります。
- 知的能力開発プログラム**
メンタルトレーニング、コミュニケーション能力、栄養・医学などを学びます。
- 測定会(年2回)**
トレーニングの成果を測定し、成長過程と今後の方向性を確認します。
- 保護者サポートプログラム**
保護者が栄養・医学、日常生活やスポーツ活動において、子どもたちをサポートする環境づくりを学習。
- 専門プログラム**
競技特有の専門的な動きに対して身体をコントロールする能力を向上させるとともに、初歩的な技術を習得。
- 特別プログラム**
専門施設で行えない競技、特定の時期が実施できない競技等を、1日練習などで集中的に体験。

海外宿 8/25(日)〜28(水)まで、韓国で行いました。*神経や運動の発達に沿って、脳、心、体に刺激を与えるトレーニング ※一部のプログラムはアカデミー生に認定されたら参加することができます。

高評価を受けたらステップアップ! 各競技団体から高い評価を受けたジュニアアスリートは、県内トップコーチの指導を受けたり、全国レベルのチームの練習やタレント発掘事業等に参加したりすることができます。

活動の様子を随時アップ! フォローをお願いします!

募集チラシを配付中!

学校を通じて募集チラシ(専用申込書)を配付しています。受け付けは、学校を通じての申し込みのみですのでご注意ください。

① 県内の小学4年生〜中学2年生(各種プログラムに年間3分の2以上参加でき、保護者の方が送迎可能な児童・生徒)
② 事務局締切日10/4(金) 必着
※校内締切日までに必要事項を記入のうえ、申込書を学校へ提出



TOPICS.1

がんばってます! 世界を目指す修了生



ウエイトリフティング競技
安部希美さん
今治市立西中・新居浜西高出身
東京国際大学3年生
公認記録(スナッチ競技):
高校、大学、
ジュニア日本記録保持

幼少期からオリンピックに出場することが夢で、その舞台に一歩でも近づくために、えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業に応募しました。ウエイトリフティング競技には、中学2年生時の育成プログラムで出会い、その後のパスウェイプログラムとジャパンライジングスタープロジェクトで適性があるとされ、高校入学と同時に始めました。昨年11月の世界ジュニア選手権で、種目別スナッチとトータルでメダルを獲得し、4月の全日本選手権では、初優勝することができました。現在は、残り1年半の大学在学中にスナッチで日本記録、全種目で大学記録を樹立し、シニアの日本代表に選出されることを目標に練習に励んでいます。そして4年後のロサンゼルスオリンピックでのメダル獲得を目指し、一歩一歩着実に成長していきます。

TOPICS.2

新たなプログラムにも注目!

修了生サポートプログラム

8/10(土)に修了生の更なる競技活動の充実に向けたサポートプログラムを実施。本県出身の元プロ野球選手・鶴久森淳志氏を講師に招き、講演やグループワークなどを通じて、認定者とともに、えひめから世界を目指す意識の醸成を図りました。

